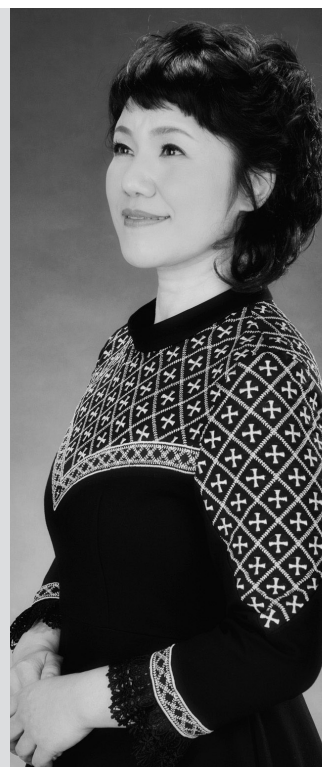


ちひろ

童謡詩人金子みすゞの詩に作曲し、全国各地や海外にて歌い語る公演活動が15年目を迎える。小学校や高等学校の校歌、CMソングなども制作。NHK「ラジオ深夜便」に出演。平成30年度NHK「ラジオYAMAGUTIC」<中国5県放送>のレギュラーも務める（らじる★らじるにて全国視聴可）。KRY山口放送ラジオ「ちひろDEブレイク」は放送開始から13年（radiko.jpでも全国放送中）。

東日本大震災の翌年から5年間、ボランティアとして福島県内外35か所で復興応援コンサートを行う。福島県立郡山北工業高校ラグビー部部歌「一勝驍進」を制作、披露の様子がTUFテレビユー福島でも紹介される。同年、ラグビー部は全国高校ラグビー花園大会にて初の16強入りを果たす。また、FCT福島中央テレビ「ゴジてれChu!」にゲスト出演し、スタジオで生歌を披露。rfcラジオ福島、ふくしまエフエム、ココラジなどのメディアにも数多く出演。山口県出身。



金子みすゞ

本名金子テル。明治36（1903）年、山口県大津郡仙崎村（今の長門市）に生まれる。大正末期から昭和の初期にかけて、すぐれた童謡詩を発表し、西條八十に「若き童謡詩人の中の巨星」とまで称賛されながら、昭和5（1930）年、26歳の若さでこの世を去った。童謡詩人・矢崎節夫の長年の努力によって512編の遺稿がみつきり、没後50余年を経て、全集として出版された。平成15（2003）年4月には、みすゞ生誕100年を記念して、長門市立「金子みすゞ記念館」が開館。全国からみすゞファンが訪れ、感動を新たにしている。

写真提供：金子みすゞ著作保存会



会員募集中!

鈴と小鳥の会は、“金子みすゞ”の詩から、命を尊び慈しむ心を学ぶとともに、金子みすゞの心を歌う歌手・作曲家“ちひろ”のコンサートの開催を通し、誰もが温かい気持ちで暮らせる地域作りに貢献することを目的に、平成29年4月に設立された市民の会です。

ちひろさんは、東日本大震災以降、“みんなちがってみんないい”に代表される金子みすゞの心とともに被災地に寄り添い、ボランティアとして、県内外全35回の復興応援コンサートを行いました。

平成28年4月ちひろさんの5年間の復興応援コンサートは、一区切りとなりましたが、金子みすゞの詩や、ちひろさんの清らかな歌声に、大きな力と感動をいただいたコンサートの継続を願う声が多く、定例会、コンサート等で、金子みすゞのまなざし、ちひろさんの想いを共有し、さらに明るいほうへと向かうことを願い活動を始めました。

只今会員募集中です。定例会に直接おいでいただいても結構です。定例会は、毎月第1木曜日13:30～ 場所は、郡山市総合福祉センターです。

♪♪ みすゞさんの詩を声に出して読みましょう。ちひろさんのメロディにのせて歌いましょう ♪♪